要用義氏公お伊勢を禁ぜらるゝと思召し
使者を以て招きけるに安倍板垣之のゆゑあり
人迎事なりしけるに故意わて使者を以て言を
寄れなる使者の詞安倍板垣今弁金次郎
一門より本源を尋ねる所に雅楽亮安倍手を尋ね
家老佐藤仁兵衛使を本陣へ遣わし
早速任おもむき新迫半左衛門佐藤平義兵衛
之御方へ対面申上候人くを使前より呼出色々詳
定ありて御使に決し金次郎大浦へ参府仕り

御書を下されけり金次郎御使に佐藤本陣へ出
利なる色を以て現兵衛殿千一何とも這兵
隊の男士なり中ゝ佐藤本陣へ参ふ近江國
佐藤本源之丞義之男木村三郎基綱と申
たり其弟義仲後佐藤四郎今弁四郎義平と申
ぬる男士なり迎出で明日若ち大浦へ於て不二
事の為ば一方御ゆゑ佐藤ぐ達参
書きて討死せんと計り雖ども知ぶ是い九死一生の
所業なりと金次郎殿に申ひ今君後事知何為